

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営理念

安全・安心をブランドの礎とし、人と社会に貢献する

営業利益
20億円親会社株主に帰属する
10億円以上嵐山線新型車両導入
7両

② 中長期の経営戦略

1. 運輸業の安全強化

嵐山線に新型車両・回生ブレーキ導入、タイヤ改正、バリアフリー化推進、電気バス・ユニバーサルデザインタクシー導入

2. 不動産事業の拡大

ランフォート・Kフォートシリーズ展開拡大、地域密着型宅地分譲、福井地区社有地活用促進

3. 観光・サービス強化

駅ビル運営体制強化、嵐山線沿線観光資源掘り起こし、AI活用情報充実、越前松島水族館新展示施設開設

4. 福井地区交通機能

交通系ICカード導入、北陸新幹線と観光地つなぐ二次交通強化、ふくいMaaS提供、事業拠点集約

③ 対処すべき課題

① 安全・安心の推進

- 嵐山線新型車両7両導入・中間駅バリアフリー化・踏切更新・老朽施設更新
- バス・タクシー事業での計画的な新車導入

② 沿線深耕と地域貢献

- 太秦など沿線地域魅力発信による観光活性化
- 賃貸物件取得等による賃貸収入増収
- 福井地区で乗合タクシー・デマンドタクシー運行強化

③ 持続可能な経営基盤

- WVF制御・回生ブレーキ化、EVバス導入などハード面環境負応
- バス事業中心の要員確保、自然災害訓練対応
- ガバナンス強化、多様な人材活躍できる職場づくり

面接で使えるポイント

- 2030年度営業利益20億円達成目指す中、嵐山線新型車両7両導入など安全投資を推進
- 北陸新幹線敦賀延伸開業と2025年大阪・関西万博により新たな人流取り込み機会
- 太秦などの沿線地域魅力発信、ふくいMaaS等で地域インフラの重要性向上を図る

証券コード 9049

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）

－（推移を描ける期数の開示がありません）

要するに
京阪ホールディングス株式会社の連結子会社であり

主力事業・セグメント

- ・運輸 53.0%
- ・不動産 38.8%
- ・Leisure・サービス 8.1%

強み・特徴（公開データから）

- ・営業利益率16.3%と高い収益性

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
149億円営業利益率
16.3%財務健康度
55点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 36.9（当サイト算出の参考指標）

平均年収
499万円

陸運業内 52位/57社

平均年齢
39.1歳

陸運業内 51位/57社

平均勤続
13.7年

陸運業内 41位/57社

女性管理職
6.3%

陸運業内 25位/46社

男性育休
－（未開示）

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は...）

直近ニュース一言

参考: 京福電気鉄道(株)【9049】：決算情報

